



奈良県と大阪観光局との連携協定締結式



令和6年5月14日(火)

奈良県と(公財)大阪観光局の連携協定の締結について

(目的)

本協定は、奈良県と大阪観光局が相互の連携を強化し、2025年の大阪・関西万博を契機として、大阪府及び奈良県内各地域の観光振興を推進することを目的とする。

(協定事項)

目的を達成するため、次に掲げる事項について連携し、取組を進める。

- (1) 観光データの利活用に関すること
- (2) 高付加価値旅行者の誘客に関すること
- (3) ナイトタイムエコノミー（夜の観光）の推進に関すること
- (4) デジタル技術等を活用した戦略的なプロモーション・情報発信に関すること
- (5) 大阪・奈良を巡る広域観光ルートの開発に関すること
- (6) 「日本みどりのプロジェクト」に関すること
- (7) その他目的を達成するために必要な施策に関すること

連携協定に基づく事業

1. 観光データの利活用

- ・ 観光データ活用の知見やマーケティングのノウハウを両者で共有し、**データ分析等に基づいた戦略的な観光施策の企画立案やマーケティングを実施**

2. 高付加価値旅行者の誘客

- ・ インバウンドによる訪日客を中心とした旅行者に向けて、地域の伝統・文化、自然等を活用した様々な体験を提供し、旅行者の満足度を高める**付加価値の高いコンテンツ**を創出

<想定される事業>

特に中南和地域への誘客に向け、高付加価値旅行者のニーズに沿った多様なコンテンツの開発及び受入環境の整備について検討

3. ナイトタイムエコノミー（夜の観光）の推進

- ・ 大阪の夜の観光消費に結びつく先進的な取組を参考に、社寺等の魅力を最大限に活用した**夜を楽しむコンテンツ**を創出

4. デジタル技術等を活用した戦略的なプロモーション・情報発信

- ・ 互いのアプリやSNS等を活用し、ターゲットを明確にした**戦略的かつ効果的なプロモーションや情報発信**を実施

5. 大阪・奈良を巡る広域観光ルートの開発

- ・ 大阪の近代的観光資源と奈良の文化的・歴史的遺産を含む**広域的な周遊観光ルート**の開発

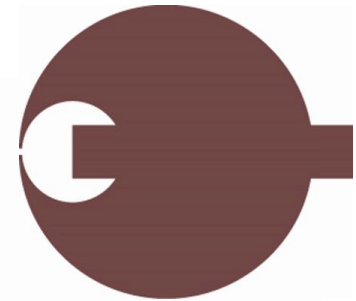
<想定される事業>

互いに強みを持つ観光資源と交通手段をセットで提供することで、シームレスでストレスフリーな周遊観光の実現

6. 「日本みどりのプロジェクト」

- ・ ゼロカーボン・脱炭素社会に寄与する**森林整備や里山保全等の取組**を推進し、「日本みどりのプロジェクト」の一つである自然（みどり）を核とした**新たな観光スタイルの創出に貢献**

【事業イメージ】 5. 大阪・奈良を巡る広域観光ルートの開発



近代的観光資源

通天閣、道頓堀、キタ、ミナミ
梅田スカイビル空中庭園、
レゴランド、リバークルーズ、等

互いの強みとなる観光資源

×
様々な交通手段の連携

文化的・歴史的遺産

平城宮跡周辺
斑鳩、飛鳥・藤原
吉野・天川 等

想定される事業

- ・大阪・奈良双方が保有する来訪者データ等の共有による戦略的なマーケティング活動の実施
⇒社寺仏閣、観光施設、交通事業者と連携したデジタル周遊パスの開発
大阪・奈良を一つのエリアとした、バリエーション溢れる観光地としての戦略的情報発信

目指す姿

- ・交通と観光施設をデジタルチケットで利用可能なシームレスでストレスフリーな周遊観光の実現
- ・大阪・奈良エリアでの滞在時間の延長・消費額の向上